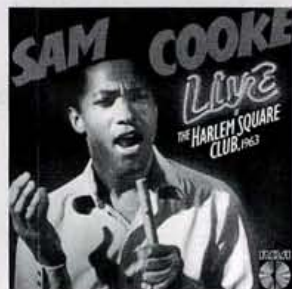




逃飛行/Rickie-G

RZCD-45597 Rickie zone 1050円

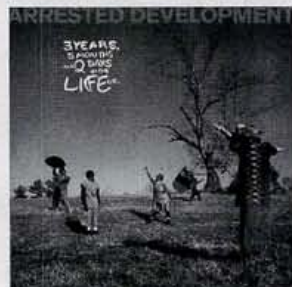
「楽しいこと」は、実は「逃げている」と同じかもしれない。でもカー一杯逃げれば、走れば、いつか飛べるかもしれない。陰（ネガティブ）と陽（ポジティブ）を併せ持ちたいという指針を、まさに体現したメジャーデビューマキシ。ハードレグエではなく、ジャンネット・ケイや、畑は違うが山崎まさよ似的な、のほほんとした雰囲気。



Live at the Harlem Square Club, 1963 [Live]/Sam Cooke

輸入盤

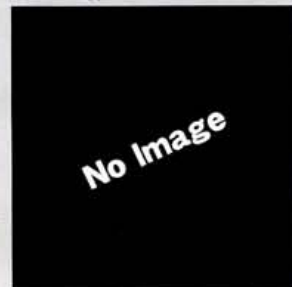
このアルバムとともに、映画「マルコムX」の劇中でも流れる、「A Change Is Gonna Come」がリコメンドするナンバー。「変わると信じていれば変わる。人は自分の進む方向を自分で決めるから、それが「逃飛行」にもつながるんです。



3 Years, 5 Months & 2 Days in the Life Of.../Arrested Development

輸入盤

「デジタルっぽくはつくり方なだけけど、生音っぽくて、それまでは歌しか聴いていなかったのが、インストに耳を向かせてくれた」。高校時代のヘヴィローテーションで、今も曲づくりのアイデアやアレンジに貢献している一枚。



I Was Made to Love Her/Stevie Wonder

輸入盤

「最初は女の人の声だと思ってたから、ビックリした。まず声にやられて、ビリージョエルも好きだったからピアノも好きだったし、ソウルもあるし音色も多いし、買いあさった」。さすがステイビー、を再確認する一枚。

35.CF

recommended 01

recommended 02

recommended 03



Rickie-G

リッキー・ジー

神奈川県出身。去る7月11日にメジャーデビュー。「実はまだ、日本のレゲエシーンで確立されているシンガーは少ないと思う」中、自らがその先例を担う。レゲエイベントに限らず、「GOOD MUSICが集まるイベントならどこにでも」と、今年からは沖縄から小樽まで精力的に出演。写真は伏見稲荷。久しぶりに訪れたファミリーの家「稲荷名産館」前にて。

<http://www.rickie-g.com/>

PPS

POWER PLAY SOUND
Music is moistened our life. Tasteful album is here.
We'd like to find your recommended one.

とっても身近で、とっても良くできた歌。陰陽併せ持つ、それがレゲエ・ミュージック。

兄に連れられて、ジャバスブヤサンスブに出かけたのが小学校6年生くらい。それがレゲエの事始めだった。中学生になると人前でギターの弾き語りをするように。キャロル・キング、ビリー・ジョエル、エアロスミス、玉置浩二も好きだった。歌本に載っている気に入った歌は何でも唄った。ジャンルなんて知らないし、関係ない。「今もそう思う。世の中には色々なアーティストがいて、みんなどうすれば自分の表現が目立つかを考えている。それも含めてジャンルだと思うから」。

クラブに通い始めると、サウンドシステムやDJにあわせてレゲエを唄うのが意外に手軽で、そして気持ちよいものと知った。「ダンスホールで聴いたレゲエは衝撃的だった。イメージしていたレゲエはもっと土っぽい感じだったから」「オレみたいなシンガーがいても良いんじゃないか」と思えるようになり、楽曲をつくり始める。

「陰と陽が共存する歌を唄いたい。これはレゲエに限ったことじゃないかもしれないけど、気持ちよく生きてりゃいいじゃん、っていうのから、悩みや社会問題をモチーフにしたものもある。レゲエの醍醐味、ダンスホールで『踊ったあ！楽しかった！』って思うんだけど、後になって何かが胸に残る感じをね」。

グッと考えさせられるもの。それはきっと、日本語で言う「余韻」なんだろう。ふとその余韻に気づき、心静かに楽しむのが侘びさびではないか。

住まいは神奈川だが、少年時代の夏休みや冬休みは必ず、伏見稲荷に隣接する神具や記念品を扱う母の生家で従姉妹たちと過ごした。取材に際してはその店に久しぶりに訪れ、「来てましたねえ〜。面白かったあ」と懐かしそうに、そして本当に嬉しそうに笑う。「特に正月は、店にいただけで外から来る色々な人に出会えるし、店に並ぶおもちゃの数も増えるし、親戚じゃない人からお年玉が集まるし(笑)」。従姉妹たちの中で一番年下の「ド末っ子気質」には、最高の環境だった。そこで侘びさびの境地を得たかどうかは解らないが、環境は今も変わらず最高で、従姉妹たちは「親戚」というと少し遠く、「ファミリー」というのが最適な言葉だ。

「とっても身近で、とっても良くできたもの。すぐ手に入るけど、凝るとんでもないものになる。そういう歌が理想。スーパーカブみたいな歌が(笑)」。

世界中の全ての人には、役目がある。「僕がいくら喋っても長くなるから聞いてくれない(笑)。だから唄う。彼は自分の役目を、知っている」。